

会長メッセージ

「丑年」から「寅年」へ



総本部長 地藏 哲皓

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆さまには、お健やかに新春をお迎えでし
うか。

振り返ると去年も一昨年も新型コロナウイルスの猛
威に晒されて、心穏やかに正月を迎えたという記憶が
ありません。幸い、昨年10月になって漸く緊急事態宣
言が解除され徐々に落ち着きを取り戻してきました。
海外では新しい変異株の発生が報じられ第6波の懸念
が拭えませんが、しばし小康状態の中、お正月らしく
お屠蘇を酌んでのお祝いや初詣、そして年賀状などに
ゆっくりできたことと思います。

今年の干支は、じんいん・みずのえとら壬寅、俗にいう「寅年」です。日
本人は昔から干支に関心が深く、新年になるとこれか
ら先一年の政治・経済・社会全体についても予測して
舵取りや仕事の目標や生活信条にまで影響を与えてき

ました。昨年は辛丑かのとうしの年、俗には「丑年」でしたが、
振り返ると年初の予測通り世界中がコロナ禍に喘ぎ、
悪戦苦闘を余儀なくされ牛のようにじっと我慢し「辛
抱」を強いられた一年でした。

年が代わっても引き続き、日本全体がこの逆境を乗
り越え、好機に転じようとはありますが、果たし
てどうなるか。総括的には壬寅の年は、前年の大変革
を受けて筋道を間違えないよう、後手に回ることがな
いよう慎重にかつ大胆に行動することが求められてい
ます。

「後漢書」に「虎穴にいらすんば虎兇を得ず」大き
な成果を得るためには、身の危険を冒すことも必要だ
という格言もあります。「論語」に孔子が弟子を諫め
て「暴虎馮河」虎と素手で闘い、大河を徒歩で渡るよ
うな無謀なことを諫める場面もあります。結局は今年